

「機械設計ここまでわかれば『一人前』」〈初版1刷〉 ISBN 978-4-526-07773-9

【正誤表】

本書内に誤りがございました。下記のとおり、お詫びして訂正いたします。

該当箇所		誤(訂正前)	正(訂正後)
p.111	項目7	$T = \frac{1}{2} l M g \sin \theta$ (N・m)	$T = \frac{1}{2\pi} l M g \sin \theta$ (N・m)
p.111	項目7	D:ピニオンの直径(m)	l:送りねじのリード(m)
p.118	項目4	$L_1 L_2$:回転中心からの距離(m)	L_1, L_2 :回転中心からの距離(m)
p.118	項目5	a_2, b_2 :辺の長さ(m)	a, b:辺の長さ(m)
p.118	項目6	r:送りねじのリード(m)	l:送りねじのリード(m)
p.120	項目11	(記入漏れ)	Z_1 :モータ側歯車の歯数 Z_2 :負荷側歯車の歯数
p.151	本文(下から4行目)	ブラケット従の軸受け穴は、送りねじの熱膨張を考慮して隙間ばめとするため、φ19JS6とする。	ブラケット従の軸受け穴は、送りねじの熱膨張を考慮して隙間ばめとするため、φ19H7とする。 ※一般的なベアリングの軸受け穴(ハウジング)の公差域クラスは、移動させたいのであればH7あたりが推奨されております。今回は、これを用いました。